

目 次

- 1 編集方針
- 2 トップメッセージ
- 3 東海理化プロフィール

5 **特集**
「感動をかたちに」
環境に配慮した製品で
豊かな社会づくりに貢献します



環境報告 Environmental Report

- 9 2012 年度環境活動概要
- 11 環境マネジメント
- 13 環境コミュニケーション
- 15 低炭素社会の構築
- 18 製品での環境配慮
- 19 循環型社会の構築
- 21 環境負荷の少ないモノづくり
- 23 各工場の取り組み
- 24 環境活動データ



社会性報告 Social Report

- 25 社会との関わり
- 29 お客様との関わり
- 30 仕入先様との関わり
- 31 社員との関わり
- 34 第三者意見
「環境・社会報告書 2013」を読んで



編集方針

本報告書は東海理化グループの環境および社会性に関する活動を報告し、ステークホルダーの皆様とのより良いコミュニケーションを図ることを目的に作成しています。できるだけ具体的かつ、その効果がわかるような報告内容とすることを心がけるとともに、編集・デザインに関しては、文章や色づかいに配慮するほか、文字フォントとしてユニバーサルデザインフォントを採用するなど、読みやすさに配慮しています。

特集では、「環境・安全」が求められる自動車製造において、東海理化が取り組んでいる様々な技術や工法を取り上げ、「東海理化のモノづくり」を紹介しています。

また報告書の客観性・信頼性向上のために「第三者意見」を掲載しました。今年度は愛知学院大学大学院の丹下博文教授に依頼し、その結果をP34に掲載しています。

●対象範囲

株式会社東海理化の取り組みを報告しています。一部、国内外の子会社・関連会社の活動も記載しています。

●対象期間

2012年4月1日～2013年3月31日
※活動の理解を深めるものとして、一部2013年4月以降の活動や計画も記載しています。

●対象読者

お客様、仕入先様、株主様、社員、地域社会など、当社と関わりのある全てのステークホルダーの皆様

●参考ガイドライン

・環境省「環境報告ガイドライン2012年度版」
・GRI「サステナビリティレポートガイドライン(第3版)」

本報告書に掲載しているデータについては、最新のデータ(2012年度末時点)に見直しをしております。(過去の報告書に掲載したデータとは異なる場合があります。)

環境・社会報告書は 4つのツールで構成されています。

環境・社会報告書 2013

2012年度の
環境・社会性の活動を
詳しくご紹介している
年次報告書です

ダイジェスト版

東海理化の環境・社会性の
取り組みをわかりやすく
ご紹介している
情報の入り口です

エコデータファイル 2013

環境に関わる
より詳しいデータ資料を
ご紹介しています

ホームページ <http://www.tokai-rika.co.jp/>

東海理化の事業活動から
製品情報、過去の環境活動、
IR活動(経済性報告)などを
紹介しています

■本誌の発行・環境活動についてのお問い合わせ

株式会社東海理化 施設環境部
〒480-0195
愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
TEL. 0587-95-9002(直通) FAX. 0587-95-1261

自然、地域と 共生する企業を めざして



当社グループは自動車部品のサプライヤーとして、人とクルマのより良いコミュニケーションをつくり出す製品の製造・販売を通じて、世界14カ国に拠点を設け、グローバルな事業展開を進めております。

2012年度は、極端な需要変動への対応など厳しい経営環境の中、全社一丸となって様々な困難を乗り越えてきた一年となりました。安全への備えを万全にしたうえでの成長戦略の4つの柱「品質」「新製品」「アジアを中心としたグローバル展開の強化」「固定費低減活動」においても着実に一歩一歩前進することができました。特に品質に関しては、“未然防止活動のやりきり”“グローバル展開”への挑戦と定着、そして、それを支える地道な努力を実感することができました。

環境活動においても着実に前進することのできた一年となりました。法令順守を、安全と同様に生産活動の基盤となる重要な要素と考え、改めて法違反ゼロを目標に掲げて取り組みました。また、第5次取り組みプラン(2011~2015年度)において、2012年度を第一の目標年度として取り組んできたCO₂排出量の低減も目標を達成することができました。中長期目標として2015年度目標を制定し、更なる改善を続けていきます。

新たなことにもチャレンジしております。“モノづくりは人づくり”の考えのもと、東海理化のノウハウを詰め込んだ、“からくり”や“省エネ”などの道場を活用し、人材の育成に取り組んでおります。

社会貢献活動では、地域に信頼される企業市民として、2012年度も活動の継続と拡大を進めました。また、地域との良い関係を築くには、まず社員が安心して働ける職場をつくることです。多様な人材の多様な価値観を尊重し、社員一人ひとりが活躍できる職場環境の整備に取り組んでおります。

さて、今年度の環境・社会報告書は、特集として“製品”を取り上げております。また、モノづくりにおける環境配慮の事例をこれまでよりも充実させております。これには、東海理化という会社が“環境に配慮したモノづくりで、環境にやさしい製品をつくっている”ということを知って頂きたいという思いが込められております。

さらに、事業を行うあらゆる国で地域と一緒に進んでいる活動を知って頂くため、海外の活動事例も多く掲載しております。

当社グループは、今後もお客様に『快適・安心・安全・感動』を提供できる製品の開発、環境活動や社会貢献活動において、事業を行うあらゆる地域で欠かすことのできない存在、オンリーワンな企業集団として信頼して頂ける様、日々精進を積み重ねていきますので、皆様の一層のご支援と忌憚のないご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

株式会社東海理化
取締役社長



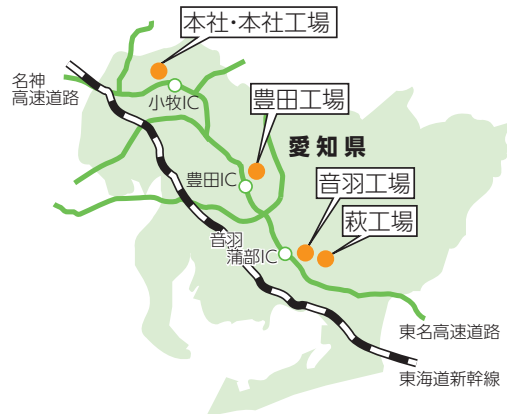
経営理念

1. お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会づくりに貢献する
2. 個性とチャレンジ精神を尊重し、若さと夢あふれた企業をめざす
3. 社会の一員として、法と倫理を遵守し自然・地域と共生する企業をめざす

東海理化プロフィール

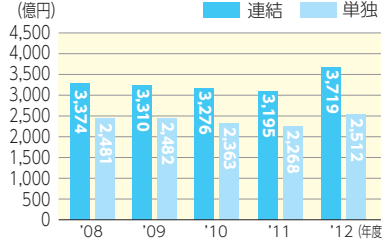


東海理化 国内生産主要拠点

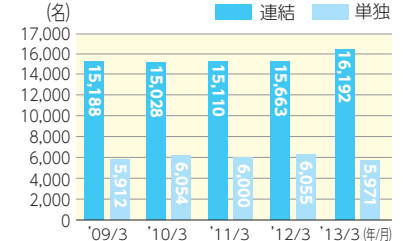


- **社名** 株式会社東海理化
(登記社名 株式会社東海理化電機製作所)
- **設立** 1948年8月30日
- **事業内容** 自動車部品の製造・販売
- **資本金** 228億円(2013年3月末現在)
- **主要なグループ会社**
子会社 国内7社 海外20社
関連会社 国内2社 海外3社
(計32社)

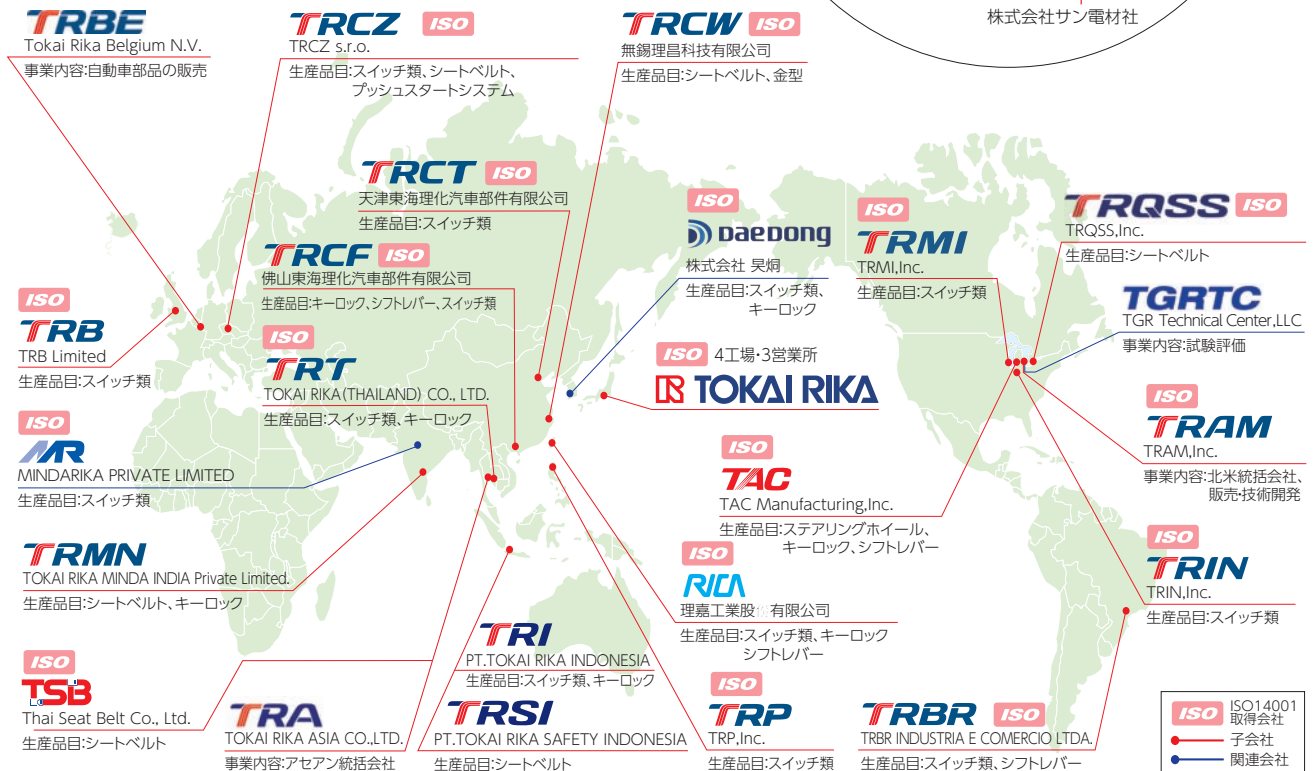
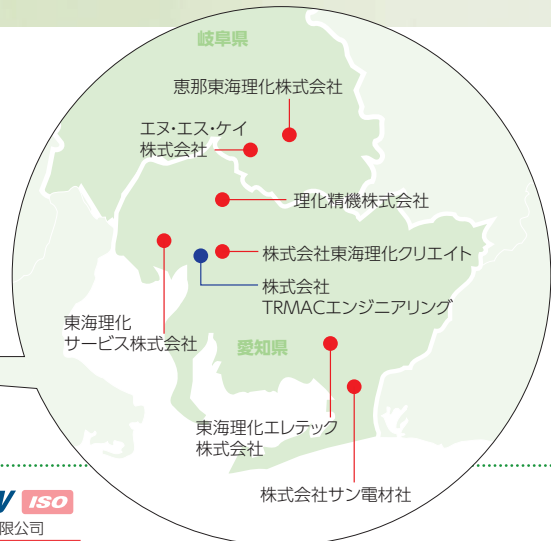
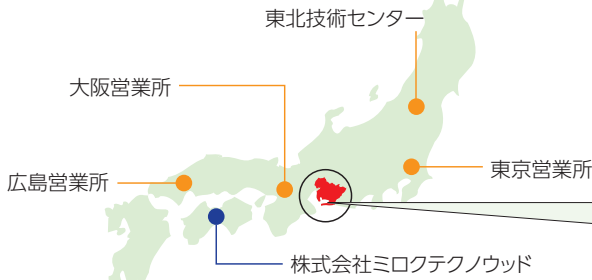
売上推移



社員数推移



国内・海外拠点

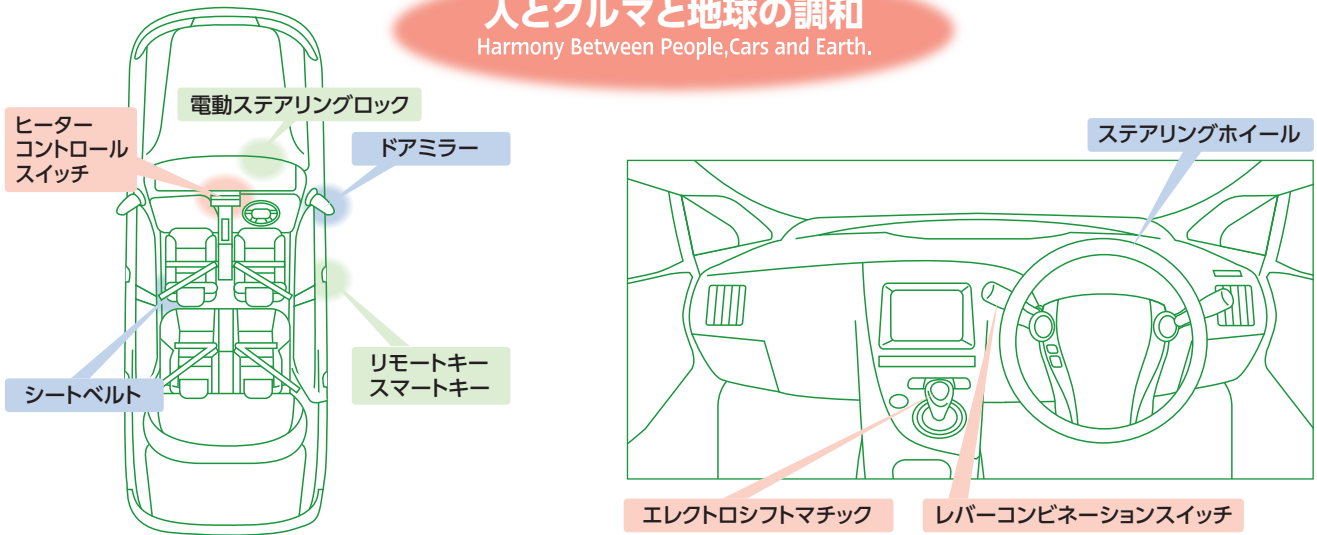


東海理化の製品

当社では、人の意思をクルマに伝えるヒューマン・インターフェイス部品をはじめ、クルマを守るセキュリティ部品、生命を守るセイフティ部品など、人とクルマのよりよいコミュニケーションをつくりだす製品の製造・販売を通じて、クルマのある豊かな社会作りに貢献しています。

人とクルマと地球の調和

Harmony Between People, Cars and Earth.



ヒューマン・インターフェイスシステム



レバーコンビネーションスイッチ



エレクトロシフトマチック



ヒーターコントロールスイッチ

セキュリティシステム



リモートキー
&レシーバー



スマートキー
携帯機



電動ステアリングロック

セイフティシステム



プリクラッシュ対応
機能付きシートベルト

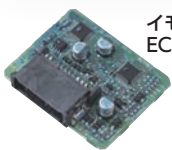


ステアリング
ホイール ※



ターンランプ・
足元照明付
ドアミラー

エレクトロニクス



イモビライザー
ECU



カスタムIC



電気自動車モーター用
回転センサー

装飾品



LEXUS
エンブレム



フルホイールキャップ

住宅用機器



玄関用イモビライザー
システム「ラ・ロック」



窓施錠モニター

※ステアリング事業は豊田合成(株)と協業しています。